

スポット
ニュース

主立坑、深度300mに到達

瑞浪超深地層研究所の主立坑では深度300.2mまで掘削を行い、深度300mの主立坑と換気立坑をつなぐ水平の坑道の掘削に着手しました。

また、換気立坑では、現在深度250.7mまでの掘削を行いました。

今後は、換気立坑の深度300mまでの掘削を行うとともに、主立坑と換気立坑をつなぐ水平の坑道の掘削作業を進めていきます。



水平の坑道の掘削直後の様子（主立坑、深度300m）

来月の主な作業予定（9月）

【瑞浪超深地層研究所】

- ①換気立坑の掘削作業（8月20日現在 主立坑：深度300.2m、換気立坑：深度250.7m）
- ②深度300mの主立坑と換気立坑をつなぐ水平の坑道の掘削作業
- ③深度100m、200mの予備ステージでの水平ボーリング孔を用いた地下水の観測
- ④既存ボーリング孔（MSB-1,2,3,4号孔、MIZ-1号孔、O5ME06号孔）での水圧等の長期観測
- ⑤排水処理設備におけるふっ素、ほう素の除去後の排水継続
- ⑥狭間川における流量観測及び用地周辺井戸での水位観測
- ⑦研究坑道の排水等に伴う環境管理測定
- ⑧表層水理観測（気象観測、地表の傾斜量の観測等）
- ⑨名古屋大学との共同研究（ひずみ計測等）
- ⑩東濃地震科学研究所との研究協力に伴う岩盤の傾斜の長期観測等

【正馬様用地】

- ①既存のボーリング孔での水圧等の長期観測

地層研ニュースに関するご意見・ご要望や瑞浪超深地層研究所の見学のご希望などについては、下記の連絡先までお願いいたします。

【電話】0572-66-2244(代表) 【FAX】0572-66-2124 【Eメール】tono-ck@jaea.go.jp

《東濃地科学センターホームページ：http://www.jaea.go.jp/O4/tono/index.htm》

東濃地科学センター 地域交流課（栢、川瀬、牧田、福島）

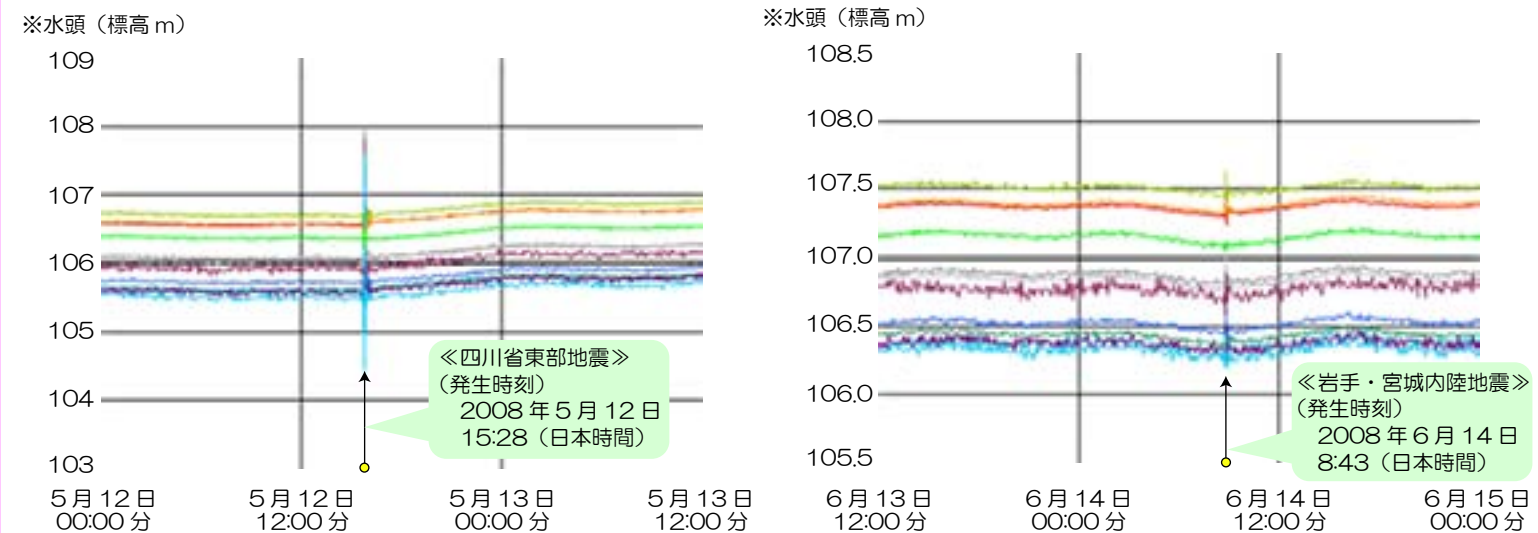


地震による水圧の変化を観測

瑞浪超深地層研究所では、地下水の流れや水質の長期的な変化を把握するため、研究所周辺や正馬様用地内の既存のボーリング孔において地下水の水圧や水質の観測を行っております。

これらの観測装置では「四川省東部地震」や「岩手・宮城内陸地震」の地震の影響によると考えられる地下水の水圧の変化が観測されました。

地震の発生時刻に、地下水の水圧が変化



【研究所周辺のボーリング孔（DH-2号孔）による観測データ】

※ボーリング孔の各区間で観測された圧力を基に水位に換算した値

①区間（標高 20.7～-9.7m）	⑤区間（標高 -99.4～-107.5m）	⑨区間（標高 -163.4～-220.4m）
②区間（標高 -10.7～-24.4m）	⑥区間（標高 -108.5～-115.2m）	⑩区間（標高 -221.4～-250.5m）
③区間（標高 -25.4～-49.8m）	⑦区間（標高 -116.2～-144.6m）	⑪区間（標高 -251.5～-264.9m）
④区間（標高 -50.8～-98.4m）	⑧区間（標高 -145.6～-162.4m）	⑫区間（標高 -265.9～-307.5m）

平成20年度 東濃地科学センター 地層科学研究 情報・意見交換会を開催します

東濃地科学センターでは、下記の予定で「平成20年度 東濃地科学センター 地層科学研究 情報・意見交換会」を開催し、センターで実施する地層科学研究の研究成果の紹介などを行います。参加希望の方は、事前申し込みが必要となりますので9月26日までに、住所・氏名・電話番号をお知らせ下さい。

【開催日時】平成20年10月16日（木）10:30～17:00

【場 所】瑞浪市地域交流センター「ときわ」

【申込み先】申し込み及び詳細についてのお問い合わせは、地層研ニュース表面の連絡先へお願いいたします

入場無料

※お知らせいただいた氏名等の個人情報は、「情報・意見交換会」の目的以外には使用いたしません。

「瑞浪超深地層研究所に係る環境保全協定書」 第2条に基づく排水水等の測定結果 (平成20年7月分)

【採取日：平成20年7月8日】(主立坑掘削土、換気立坑掘削土)

【採取日：平成20年7月11日】(工事排水水、狭間川下流、湧水、狭間川上流)

単位：mg/ℓ (水素イオン濃度はpH)

測定項目	管理目標値	工事排水水	狭間川下流	※1 立坑の湧水	※2 狭間川上流	※3 掘削土の 溶出量(主立坑)	※3 掘削土の 溶出量(換気立坑)
水素イオン濃度	6.5～8.5	6.9	7.1	8.9	7.4		
浮遊物質	25以下	1未満	13		12		
カドミウム	0.01以下	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
全シアン	検出されないこと	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
有機燐化合物	検出されないこと	検出されず					
有機燐	検出されないこと					検出されず	検出されず
鉛	0.01以下	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満
六価クロム	0.05以下	0.04未満	0.04未満	0.04未満	0.04未満	0.04未満	0.04未満
砒素	0.01以下	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満
総水銀	0.0005以下	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
アルキル水銀	検出されないこと	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
PCB	検出されないこと	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
トリクロロフル	0.03以下	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
テトラクロロフル	0.01以下	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
四塩化炭素	0.002以下	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満
ジクロロメタン	0.02以下	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
1,2-ジクロロエタン	0.004以下	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満
1,1,1-トリクロロエタン	1以下	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
1,1,2-トリクロロエタン	0.006以下	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満
1,1-ジクロロエチレン	0.02以下	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
1,2-ジクロロエチレン	0.04以下	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満
1,3-ジクロロプロパン	0.002以下	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満
チウラム	0.006以下	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満
シマジン	0.003以下	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満
チオベンカルブ	0.02以下	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
ベンゼン	0.01以下	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
セレン	0.01以下	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10以下	0.9	0.9	0.12	0.3		
ふっ素	0.8以下	0.4	0.4	9.9	0.1未満	0.2	0.3
ほう素	1以下	0.36	0.03	1.2	0.02未満	0.04	0.02
塩化物イオン	—			150			
アゾニア、アゾニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	—	0.99					

※1 立坑の湧水の値は排水処理によりふっ素・ほう素を除去する前の湧水の値です。排水処理後、狭間川へ排水します。
 ※2 狭間川上流は排水が流れない場所での採取のため、値は狭間川の河川の値となります。
 ※3 掘削土の溶出量は管理の対象となりませんが、湧水は排水処理プラントの運転の参考、河川上流は河川状態の把握等のため測定しています。
 ※4 空間放射線線量は3ヶ月間の集積空間放射線線量を1時間あたりで表した値。
 ※5 参考値

【測定期間：6月27日～9月末日】

参考値	測定結果
測定中 周辺地域の空間放射線線量率と同等※5	測定中 3ヶ月の集積空間放射線線量※6から算出

【掘削区間毎の掘削土溶出試験結果(主立坑)】

(単位：mg/ℓ)

項目(参考値)	ふっ素 (0.8以下)	ほう素 (1以下)	砒素 (0.01以下)	鉛 (0.01以下)	総水銀 (0.0005以下)
掘削区間 277.2m～ 296.6m	0.3～0.6	0.15 ～0.25	0.005以下 ～0.008	0.005以下	0.0005以下

【掘削区間毎の掘削土溶出試験結果(換気立坑)】

(単位：mg/ℓ)

項目(参考値)	ふっ素 (0.8以下)	ほう素 (1以下)	砒素 (0.01以下)	鉛 (0.01以下)	総水銀 (0.0005以下)
掘削区間 228.6m～ 246.8m	0.1～0.4	0.07 ～0.13	0.005以下	0.005以下	0.0005以下

瑞浪国際地科学交流館 ミニギャラリー 展示案内

瑞浪国際地科学交流館の1階のミニギャラリーでは、「デイサービスセンター作品展」(仮称)の作品を展示いたします。是非、交流館へ足をお運びください。また、展示作品の募集も随時行っております。展示は無料ですので、お気軽にお問合せください。

【期間】9月1日(月)～9月30日(火) 10:00～20:00

【場所】瑞浪市明世町戸狩字大狭間36-8(入館無料)

【休館日】年末年始(月曜日は営業日となりました)

《展示に関するお問合せ先》

地層研ニュース表面の連絡先へお問合せください。

瑞浪超深地層研究所を見てみませんか?

瑞浪超深地層研究所では、地下を体験できる施設見学会を下記のとおり開催します。希望される方は事前申込が必要となりますので、9月25日(木)までに住所、氏名、電話番号をお知らせください。また、申込み多数の場合は締切り前に受付を終了させていただくこともありますのでご容赦ください。なお、当施設見学会は毎月開催する予定です。

【開催日時】平成20年9月28日(日)(9:30～11:30)

【内容】地下約200mの世界を体験していただきます。

【対象】小学校4年生以上

(工事現場での安全の確保のため、お子様の場合は小学校4年生以上の方に限らせていただき、保護者同行をお願いしております。また、歩行困難な方等はお控えいただきますようご協力をお願いいたします。)

※氏名等の個人情報は、当機構主催の見学会や講演会等のご案内に使用させていただく場合があります。